



三内丸山通信

三内丸山遺跡センター
〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL (017) 766-8282
FAX (017) 766-2365
URL <https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

三内丸山遺跡センターオープン!

平成31年4月、三内丸山遺跡と縄文時遊館とを合わせた、教育機関「三内丸山遺跡センター」が設置されました。

4月4日(木)にはオープニングセレモニーを開催し、三内小学校・三内西小学校及び、三内中学校の児童・生徒や、三村知事、「青森県の縄文遺

跡群」世界遺産をめざす会の若井会長などが、テープカットを行いました。一般公開初日となる4月6日(土)には、開館記念講演会「世界のなかの北海道・北東北の縄文遺跡群」が開催され、約100名の方が参加しました。



【テープカットの様子】



【開館記念講演会の様子】

は、特別史跡三内丸山遺跡に関する調査・研究、保存、展示などを更に充実していくこととしています。

今年度は、特別展として6月9日まで開催した「縄文の色―縄文人が魅せられた魔法の石・黒曜石」をはじめ、「あおもり土偶展」、「発掘された日本列島2019」展、企画展として「三内丸山遺跡周辺のムラ(仮)展」を開催するほか、多彩なイベントを企画しております。いつ来ても楽しめる三内丸山遺跡に、ぜひ足をお運びください。

しゃごちゃん、国宝「縄文の女神」がやってくる「あおもり土偶展」

縄文、土偶、片足立ちといえは、写真の遮光器土偶が頭に浮かぶのではないのでしょうか。実物は東京国立博物館に所蔵されています。

この日本一有名な遮光器土偶をはじめとした土偶の展覧会「あおもり土偶展」を7月20日から開催します。

見どころは、15年ぶりに里帰りする遮光器土偶と地元土偶たち。北日本最古の今から9千年前の土偶、国内最大級の石製人形、そして45cmと日本一の高さを誇る国宝土偶「縄文の女神」(8月17〜25日の期間限定)など、北海道・東北の優品がにぎやかに集います。

この夏休みは、里帰りするしゃごちゃんに会いに来ませんか?



遮光器土偶
東京国立博物館所蔵
Image:TNM Image Archives

夏季特別展
「あおもり土偶展」
会期…令和元年7月20日(土)〜9月1日(日)
観覧時間…午前9時〜午後6時(最終入館は午後5時30分まで)
観覧料…一般1000円(800円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料
※()は20名以上の団体
※特別展観覧料で遺跡を含む常設展もご覧いただけます。
関連イベントとして、ギャラリートークや講座のほか、土偶のレプリカづくりや土偶ハンズオンなどの体験イベントを行います。詳しくはホームページなどでお知らせします。



第43次発掘調査開始!

三内丸山遺跡では、遺跡の全体像や、集落の移り変わりを把握するため、毎年発掘調査を行っています。

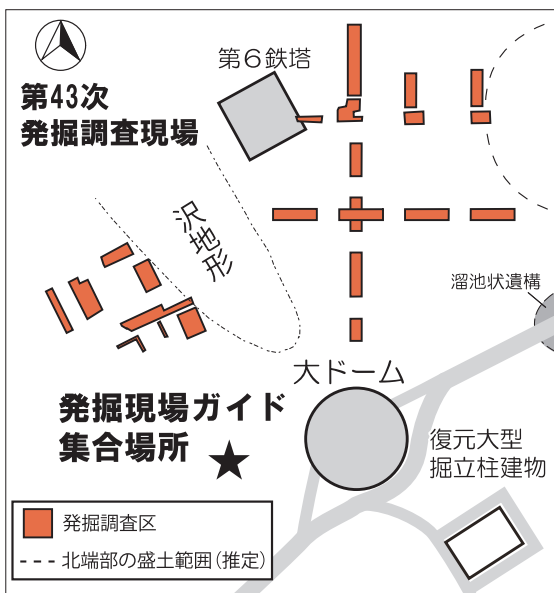
今年度は遺跡北端部において、大ドーム北側の縄文時代の遺物包含層（土器や石器などの遺物が含まれる層）や遺構の分布の確認、北端部の盛土（土砂や土器や石器などを捨てた場所）の広がり、昨年度確認した第6鉄塔西側の沢地形と通路の可能性のある溝状遺構などとの関係について調査します。

7月2日（火）から、平日の調査を実施している日に現場を公開します。公開日の午前

11時からは、発掘調査を担当している職員が、現地でも20分ほどの「現場ガイド」を行います。発掘に対する質問などがあれば、何でも気軽にお聞きください。公開は9月23日（月・祝）までを予定しています。

9月に開催予定の「さんま JOMONの日」には現地説明会を行う予定です。みなさんのお越しをお待ちしています。

また、三内丸山遺跡のホームページでは、「発掘最前線」というコーナーで、調査の情報を毎週更新しています。こちらもぜひチェックしてみてください。



【第43次(今年度)発掘調査位置図】

三内丸山遺跡センターオープン記念特別展を開催しました

4月6日（土）から6月9日（日）まで、オープン記念特別展として「縄文の色―縄文人が魅せられた魔法の石・黒曜石―」を開催しました。

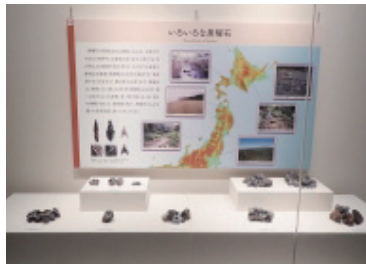
三内丸山遺跡には、良質な黒曜石の産地である長野県や北海道東部をはじめとして、日本各地の黒曜石でつくられた石器が運び込まれています。黒だけでなく、赤や白色が混じったり、キラキラと透明であったり、さまざまな特徴がみられます。黒曜石が魅せる

4月20日（土）・21日（日）に開催した、三内丸山縄文春祭りは約2500名の方にご来場いただきました。今年度は、オープン記念特別展「縄文の色―縄文人が魅せられた魔法の石・黒曜石―」に関連したイベントとして、長沼孝さん（北海道埋蔵文化財センター常務理事）と小松隆史さん（井戸尻考古学館館長）によるワークショップ「黒曜石の2大ブランド―北海道と長野県の黒曜石で石器を作ろう―」、宮坂清さん（諏訪湖博物館・赤彦記念館館長）による

三内丸山縄文春祭りを開催しました!



【石器作りの様子】



【展示の様子】

特別展関連講座「北の縄文人を魅了した長野県産黒曜石」や、フォーラム「三内丸山遺跡センターの将来」では、水ノ江和同さん（同志社大学教授）に基調講演をいただきました。ほかに大人気恒例イベント「縄文パノラマビュー」や、「発掘ひろば」も大盛り上がりでした。

三内丸山遺跡のご案内

休館日
毎月第4月曜日
(祝日の場合は翌日)、
12月30日～1月1日

見学料
一般410円(330円)
高校生・大学生等200円(160円)
中学生以下無料
※()は20名以上の団体
※特別展の観覧料は別途

開館時間
10月～5月 : 9時～17時
GW中・6月～9月: 9時～18時
(入場は閉館の30分前まで)

さんまるミュージアムの定時ガイド
10時30分～、14時～の2回(所要時間約20分)

ボランティアガイドの定時案内
1 回目は9時15分から
2 回目以降は9時30分から30分ごと
最終回は16時から(10月1日以降は15時30分が最終回)
所要時間: 約50分
見学お問い合せ先: 三内丸山応援隊017-766-8282

公共交通機関
□青森市営バス
JR青森駅⑥番乗り場から 三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車 料金310円 約30～40分
□ねぶたん号
JR新青森駅東口
三内丸山遺跡前で下車 料金300円 約15分

重要文化財
三内丸山遺跡
出土品修理中!

大型掘立柱建物の
本柱も修理しました!

平成15年度に重要文化財に指定された1958点の出土品修理を平成19年度から行っています。昨年度は、土器2点、骨角器1点、編み物1点を修理しました。これらの重要文化財はさんまるミュージアムなどで展示していく予定です。

大型掘立柱建物跡(6本柱)の木柱を長期間保存するための修理をしました。4本見つけたうちの1本を修理し、オープン記念特別展では、出土したときの映像とともに展示しました。



【修理した重要文化財】



【木柱を展示している様子】